

# 授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業のタイトル (科目名)		授業の種類		授業担当者	当該科目に関する実務経験
保育内容：環境		( 講義・演習・実習 )		柳田 真理子	保育士
授業の回数	時間数 (単位数)	幼稚園教諭専攻科			
12回	24時間 (2単位)	前期	必修科目		
[授業の目的・ねらい及び、概要]					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育内容を構成する「環境」のねらいと内容について理解し、子どもをとりまく環境について学び、環境と子どもの活動保育における環境及び環境設定について理解を深める。</li> <li>・ 保育の全体構造における環境に関して総合的に指導、援助が行えるような理論や知識を習得する。</li> <li>・ 演習形式で学ぶことで、「環境」で習得した理論や知識への理解をさらに深め、実際の保育現場での指導につながる実践力を培う</li> </ul>					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の基本と領域「環境」について一環境を通して行う保育の基本を理解すると共に、領域についての理解を深める</li> <li>2. 領域「環境」をさらに深く理解する一様々な環境 (物的環境・人的環境・自然事象・雰囲氣的環境) について理解する一</li> <li>3. 幼児の成長発達の特徴を知る一0～5歳児の成長の姿を理解する一</li> <li>4. 幼児の成長発達の特徴を知る一情報機器及び教材を活用した、環境設定の仕方を理解する一</li> <li>5. 保育環境とはどのようなものか理解する一保育の場、幼児の自己形成空間を考える</li> <li>6. 子どもの育ちを支える園環境 (1) 園舎 (保育室等、生活空間) 一適切な環境構成への多様な視点</li> <li>7. 子どもの育ちを支える園環境 (2) 園庭 (園庭及び地域資源の活用) 一環境適応能力の向上一</li> <li>8. 自然環境を考える (1) 人と植物の関わりを知る</li> <li>9. 自然環境を考える (2) 人と動物の関わりを考える</li> <li>10. 領域「環境」の内容及び対象を理解するための保育者の価値観や生活館について考える</li> <li>11. 模擬保育による検討 (1) 季節や自然を感じる環境構成及び指導計画</li> <li>12. 模擬保育による検討 (2) 安全安心な環境のための安全計画及び指導計画</li> </ol>					
[使用テキスト]					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンパクト版 保育内容シリーズ3 環境 谷田貝公明 他著 (一藝社)</li> </ul>					
[参考文献]					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園教育要領 (平成29年3月告示 文部科学省)</li> <li>・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)</li> <li>・ 保育所保育指針 (平成29年3月告示 厚生労働省・日本保育協会)</li> </ul>					
[成績評価の方法と基準]					
<p>教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考查点 (75%)</li> <li>・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考査を実施する。</li> <li>・ 平常点 (25%)</li> <li>・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。</li> </ul>					

・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。